

高齢者実態調査（２）利用者調査

現設問数 37 問 削除予定設問数 3 問 追加予定設問 2 問

NO.	新規設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
1		(1) 調査回答者の基本属性	問1	記入者	この調査票をご記入されるのは誰ですか。(○はひとつ)	1 本人 2 家族、親族（主な介護者） 3 家族、親族（主な介護者以外） 4 その他	属性把握	介護保険事業計画策定に必要な調査（在宅介護実態調査A-1（非接続式））					
2		(1) 調査回答者の基本属性	問2(1)	本人の性別	あなたの性別、年齢、居住区についておうかがいします。（それぞれ○はひとつ） 性別	1 男性 2 女性 3 その他、または、答えたくない	この設問は対象者の征伐を問う設問です。 他の設問と合わせて把握すること、性別による比較を行い、ニーズに合わせた介護予防事業等の企画・検討に活用することが可能になります。	一般介護予防事業は、要介護者を含むすべての高齢者を対象としており、要介護者の状態についても同様に把握する必要があります。 把握した調査結果については、他の設問結果と合わせて、フレイル要因の傾向やフレイルの状況分析に使用します。 また、対象群や居住区ごとに比較し、地域診断を行い、今後の介護予防施策の基礎資料とします。 地域診断の結果については、各区で行う介護予防地域健康講座や介護予防地域情報発信の題材として活用します。					
							属性把握	介護保険事業計画策定に必要な調査（在宅介護実態調査A-3（非接続式））					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択 肢修正の理由	削除理由	備考
3		(1) 調査回答者の 基本属性	問2(2)	本人の年齢	年齢	1 40～64歳 2 65～69歳 3 70～74歳 4 75～79歳 5 80～84歳 6 85～89歳 7 90歳以上	この設問は対象者の年齢を問う設問です。他の設問と合わせて把握することで、年齢による比較を行い、各年代のニーズに合わせた介護予防事業等の企画・検討に活用することが可能になります。	一般介護予防事業は、要介護者を含むすべての高齢者を対象としており、要介護者の状態についても同様に把握する必要があります。 把握した調査結果については、他の設問結果と合わせて、フレイル要因の傾向やフレイルの状況分析に使用します。 また、対象群や居住区ごとに比較し、地域診断を行い、今後の介護予防施策の基礎資料とします。 地域診断の結果については、各区で行う介護予防地域健康講座や介護予防地域情報発信の題材として活用します。					
							属性把握	介護保険事業計画策定に必要な調査（在宅介護実態調査A-4（非接続式））					
							この設問は在宅医療と介護を必要とする対象者の年齢を問う設問です。各年齢層における必要なサービスの把握を可能にします。	特に重点をおくべき年齢層を把握するとともに他の設問とクロス集計を行うことで今後さらに取り組むべき施策の検討に活用します。					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
4		(1) 調査回答者の基本属性	問2 (3)	本人の居住区	居住区	(省略)	この設問は対象者の居住区を問う設問です。他の設問と合わせて把握すること、区ごとの比較を行い、各区のニーズに合わせた介護予防事業等の企画・検討に活用することが可能になります。	一般介護予防事業は、要介護者を含むすべての高齢者を対象としており、要介護者の状態についても同様に把握する必要があります。 把握した調査結果については、他の設問結果と合わせて、フレイル要因の傾向やフレイルの状況分析に使用します。 また、対象群や居住区ごとに比較し、地域診断を行い、今後の介護予防施策の基礎資料とします。 地域診断の結果については、各区で行う介護予防地域健康講座や介護予防地域情報発信の題材として活用します。					
							この設問は在宅医療と介護を必要とする対象者の居住区を問う設問です。区単位で事業を推進していく必要があるためクロス集計に必要となります。	他の設問とクロス集計を行うことで各区単位の在宅医療と介護に関する需要と供給を把握し、事業推進に活用します。					
5		(1) 調査回答者の基本属性	問3	要介護度	あなたの要介護度についてお答えください。(○はひとつ)	1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5 8 事業対象者 9 わからない	この設問は対象者の要介護度を問う設問です。他の設問と合わせて把握すること、要介護度ごとの状況に合わせた介護予防事業等の企画・検討に活用することが可能になります。	一般介護予防事業は、要介護者を含むすべての高齢者を対象としており、要介護者の状態についても同様に把握する必要があります。 把握した調査結果については、他の設問結果と合わせて、フレイル要因の傾向やフレイルの状況分析に使用します。 また、対象群や居住区ごとに比較し、地域診断を行い、今後の介護予防施策の基礎資料とします。 地域診断の結果については、各区で行う介護予防地域健康講座や介護予防地域情報発信の題材として活用します。					
							属性把握	介護保険事業計画策定に必要な調査(在宅介護実態調査A-5(被接続式))					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
6		(1) 調査回答者の基本属性	問4	現在の疾病	あなたが現在抱えている傷病等（完治したものは除き、経過観察中のものを含む。）について、ご回答ください（○はいくつても）	1 脳血管疾患（脳卒中） 2 心疾患（心臓病） 3 悪性新生物（がん） 4 呼吸器疾患 5 腎疾患（透析） 6 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等） 7 膠原病（関節リウマチ含む） 8 変形性関節疾患 9 認知症 10 パーキンソン病 11 難病（パーキンソン病を除く） 12 糖尿病 13 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの） 14 その他 15 なし 16 わからない	支援・サービスのニーズを把握します。介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスの両方を対象としています。	介護保険事業計画策定に必要な調査（在宅介護実態調査A-7（非接続式））					
7		(2) 世帯の状況、介護の状況	問5	世帯状況	あなたと同居されている家族の状況についてお答えください。（○はひとつ）	1 単身（ひとり暮らし） 2 夫婦のみで、配偶者が65歳以上 3 夫婦のみで、配偶者が65歳未満 4 息子・娘との2世帯 5 その他の世帯（1～4以外の世帯）	この設問は対象者の世帯状況を問う設問です。他の設問と合わせて把握することで、世帯状況ごとの比較を行い、状況に合わせた介護予防事業等の企画・検討に活用することが可能になります。	一般介護予防事業は、要介護者を含むすべての高齢者を対象としており、要介護者の状態についても同様に把握する必要があります。 把握した調査結果については、他の設問結果と合わせて、フレイル要因の傾向やフレイルの状況分析に使用します。 また、対象群や居住区ごとに比較し、地域診断を行い、今後の介護予防施策の基礎資料とします。 地域診断の結果については、各区で行う介護予防地域健康講座や介護予防地域情報発信の題材として活用します。	介護保険事業計画策定に必要な調査（在宅介護実態調査A-2（非接続式））				

NO.	新規設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
8		(2)世帯の状況、介護の状況	問6	介護者の有無	あなたの介護をする方はいますか。(○はひとつ)	1 いる ア 主に事業者 イ 主に家族など 2 いない	家族等による介護がどの程度行われているかを把握します。	介護保険事業計画策定に必要な調査(在宅介護実態調査A-14(非接続式))					
9		(2)世帯の状況、介護の状況	問6-1	家族や親族からの介護日数	ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子供や親族等からの介護を含む)(○はひとつ)	1 ない 2 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない 3 週に1～2日ある 4 週に3～4日ある 5 ほぼ毎日ある	家族等による介護がどの程度行われているかを把握します。	介護保険事業計画策定に必要な調査(在宅介護実態調査A-14(非接続式))					
10		(2)世帯の状況、介護の状況	問7	介護認定を受けた主な原因や病気	あなたが介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(○はいくつでも)	1 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 2 心臓病 3 がん(悪性新生物) 4 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等) 5 関節の病気(リウマチ等) 6 認知症(アルツハイマー病等) 7 パーキンソン病 8 糖尿病 9 腎疾患(透析) 10 視覚・聴覚障がい 11 骨折・転倒 12 脊椎損傷 13 高齢による衰弱 14 その他() 15 わからない	この設問は対象者が介護認定を受けた主な原因や病気を問う設問です。他の設問と合わせて把握することで、状況に合わせた介護予防事業等の企画・検討に活用することが可能になります。 一般介護予防事業は、要介護者を含むすべての高齢者を対象としており、要介護者の状態についても同様に把握する必要があります。把握した調査結果については、他の設問結果と合わせて、フレイル要因の傾向やフレイルの状況分析に使用します。また、対象群や居住区ごとに比較し、地域診断を行い、今後の介護予防施策の基礎資料とします。地域診断の結果については、各区で行う介護予防地域健康講座や介護予防地域情報発信の題材として活用します。	あなたが介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。○はいくつでも あてはまるすべての番号に○をつけ、かつ、その中で主な原因である番号1つを主な原因欄に記入してください。 ※国の調査(厚生労働省:国民生活基礎調査【介護票】)の回答方法とあわせた	1 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 2 心臓病 3 がん(悪性新生物) 4 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等) 5 関節の病気(リウマチ等) 6 認知症(アルツハイマー病等) 7 パーキンソン病 8 糖尿病 9 腎疾患(透析) 10 視覚・聴覚障がい 11 骨折・転倒 12 脊椎損傷 13 高齢による衰弱 14 その他() 15 わからない ↓ ○をつけた中で主なもの1つ 主な原因()番	介護・介護が必要になった 主な原因 について把握することができ、また国の調査結果(厚生労働省:国民生活基礎調査【介護票】)と比較できることにより、より本市における効果的な施策について検討することができるため。			

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択 肢修正の理由	削除理由	備考
11		(3) 要介護認定	問8	初めて要介護認定を受けた時の目的	あなたが、初めて要介護認定を受けた時の目的は何ですか。(○はひとつ)	1 介護保険サービス・総合事業のサービスを受けるため(住宅改修・福祉用具購入のみの利用を除く) 2 介護保険の住宅改修・福祉用具購入のみのサービスを受けるため 3 最初は介護保険サービス・総合事業のサービス利用の予定はなかったが、念のために要介護(要支援)認定だけを受けた 4 周りに介護してくれる人がいないため、不安を感じたから 5 その他	認定申請の目的を確認し、要介護者のサービス利用に関する意向等を把握します。	認定率の状況分析に活用します。					
12		(3) 要介護認定	問9	直近の要介護認定で不満の有無	直近の要介護認定において、何かご不満な点がありましたか。(○はひとつ)	1 特にない 2 やや不満である 3 不満である 4 わからない	認定調査時の実態を把握します。	認定調査員研修時に活用します。					
13		(3) 要介護認定	問9-1	要介護度認定に不満がある理由	その理由についてお答えください。(○はいくつでも)	1 認定結果が思っていた介護度より軽かった 2 認定結果が思っていた介護度より重かった 3 認定されるまでの日数がかかりすぎる 4 認定の有効期間が短い 5 認定調査の際の説明がわかりにくかった 6 その他	認定調査時の実態を把握します。	認定調査員研修時に活用します。					
14		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問10	現在の住まい	あなたの現在のお住まいについて、お答えください。(○はひとつ)	1 持ち家・賃貸住宅 2 高齢者向け住宅(介護付き有料老人ホーム除く) 3 その他 4 施設等に入所(入居)している[特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、介護付き有料老人ホーム、グループホーム など]	施設調査で把握できないサービスのニーズを把握します。	小多機・看多機の利用意向を同サービスの整備目標設定の基礎数値として活用します。					
15		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問10-1	現在の施設等への入所・入居希望	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○はひとつ)	1 入所・入居は検討していない 2 入所・入居を検討している 3 すでに入所・入居申し込みをしている ※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホームなど。	今後も在宅生活を継続していくことができると感じているか否かを把握し、在宅生活の継続に資するサービス利用の分析を行います。	介護保険事業計画策定に必要な調査(在宅介護実態調査A-6(非継続式))	1 入所・入居は検討していない 2 入所・入居を検討している 3 すでに入所・入居申し込みをしている ※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、 介護医療院 、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホームなど。	介護療養型医療施設は介護医療院に変更されているため。			

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択 肢修正の理由	削除理由	備考
16		(4) 介護保険 サービスの利用 状況と利用に対 する考え	問10-2	現在利用している介 護保険サービス及 び介護予防サービ ス	あなたが現在利用してい る介護保険サービス及び 介護予防サービスにつ いてあてはまる番号すべ てに○をつけてください。 (○はいくつでも)	利用者調査_調査票P7, 8 参 照	施設調査で把握できな いサービスのニーズを把 握します。	小多機・看多機の利用意 向を同サービスの整備目 標設定の基礎数値として 活用します。					
17	○	介護予防・重度 化防止の推進		リハビリテーション サービスの利用に ついて	いつまでも地域でいきい きと生活を続けるために、 リハビリテーションを利用 してみたいですか。	1 すでに利用している 2 今後、利用が必要な状態に なれば利用したい 3 利用したくない 4 わからない	生活期におけるリハビリ テーションサービス提供 体制の充実に対する考え 方が要介護者に理解さ れているか、リハビリテ ーション利用の意思がある かを確認する。	要介護者のリハビリテ ーションに対する意識向上 やリハビリテーションサー ビス提供体制の充実につ いて検討する。					問10現在のお住ま いが、4施設入所以 外の方
18	○	介護予防・重度 化防止の推進		リハビリテーション サービスの利用に ついて	「利用したくない」と回答 された方におうかがいし ます。利用したくない理由 は何ですか。(○はいくつ でも)	1 リハビリテーションを利用す る状態ではない 2 以前、利用していたサービ スに不満があった 3 利用者負担が高い 4 リハビリテーションサービス が身近にない 5 利用したいが手続きや利用 方法が分からない 6 手続きが面倒だから 7 介護保険サービス以外の リハビリテーションを利用し ているから 8 どのようなサービスがある かわからない 9 その他	生活期におけるリハビリ テーションサービス提供 体制の充実に対する考え 方が要介護者に理解さ れているか、リハビリテ ーション利用の意思がある かを確認する。	要介護者のリハビリテ ーションに対する意識向上 やリハビリテーションサー ビス提供体制の充実につ いて検討する。					問10現在のお住ま いが、4施設入所以 外の方
19		(4) 介護保険 サービスの利用 状況と利用に対 する考え	問10-3	令和4年8月の介護 保険サービス及び 介護予防サービスの 利用状況	令和4年8月の1か月の 間に、(住宅改修、福祉用 具貸与・購入以外の) 介 護保険サービス及び介護 予防サービスを利用しま したか。(○はひとつ)	1 利用した 2 利用していない	要支援・要介護認定を受 けている方について、介 護保険サービスを利用し ていない理由を把握しま す。	介護保険事業計画策定 に必要な調査(在宅介護 実態調査A-8(非接続 式))					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
20		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問10-4	介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況	以下の介護保険サービス及び介護予防サービスについて、令和4年8月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービス及び介護予防サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回)」および「1 利用していない」を選択してください。(それぞれ〇はひとつ)	利用者調査 調査票P9, 10 参照	属性把握	介護保険事業計画策定に必要な調査(在宅介護実態調査A-9(非接続式))					
21		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問10-5	介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由	問10-3で「2 利用していない」と回答した方にお伺いします。あなたが(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)	1 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない 2 本人(あなた)にサービス利用の希望がない 3 家族が介護をするため問題ない 4 以前、利用していたサービスに不満があった 5 利用料を支払うのが難しい 6 利用したいサービスが利用できない、身近にない 7 住宅改修、福祉用具貸与、購入のみを利用するため 8 サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない 9 人との接触が増えると新型コロナウイルス感染症に感染する可能性が高くなるから 10 その他	要支援・要介護認定を受けている方について、介護保険サービスを利用していない理由を把握します。	介護保険事業計画策定に必要な調査(在宅介護実態調査A-10(非接続式))		選択肢9を修正 9 人との接触機会が増えると感染症などに感染する可能性が高くなるから	新型コロナウイルス感染症に関する選択肢のため		
22		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問11	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による介護サービス利用の変化	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で介護サービスの利用に変化はありましたか。(〇はひとつ)	1 介護サービスの利用をやめたり、種類の変更や回数を減らすなどした 2 事業者や施設等の事情により、介護サービスが利用できなくなったり、利用できる回数が減った 3 特に介護サービスの利用に影響はなかった	削除検討設問					コロナ禍の実態把握を目的として行っていた調査のため。	

NO.	新規設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
23		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問11-1	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用をやめた、もしくは回数を減らした介護サービス	問11で「1 介護サービスの利用をやめたり、種類の変更や回数を減らすなどした」「2 事業者や施設等の事情により、介護サービスが利用できなくなったり、利用できる回数が減った」と回答された方におうかがいします。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により利用をやめた、もしくは、回数を減らした介護サービスの種類をお答えください。	利用者調査_調査票P11_参照	削除検討設問					コロナ禍の実態把握を目的として行っていた調査のため。	
24		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問11-2	介護サービスの種類を変更したり、回数を減らしたことによる影響	問11で「1 介護サービスの利用をやめたり、種類の変更や回数を減らすなどした」「2 事業者や施設等の事情により、介護サービスが利用できなくなったり、利用できる回数が減った」と回答された方におうかがいします。介護保険サービス及び介護予防サービスの種類を変更したり、回数を減らしたこととどのような影響がありましたか。(〇はいくつでも)	1 会話することなど、人とのかわりが減った 2 感染に対する不安が少なくなった 3 外出する機会が減り、家に閉じこもることが増えた 4 自宅でできる新たな趣味が増えた 5 精神的に不安定になった 6 できるだけ自分でやろうと前向きに考えるようになった 7 事業者以外の介護者（家族等）の負担が増えた 8 身体機能が低下した（筋力が落ちた、歩行しにくくなった、転倒しやすくなった） 9 食事の支度や掃除、洗濯、買い物などに困るようになった 10 影響は特にならない 11 その他	削除検討設問				コロナ禍の実態把握を目的として行っていた調査のため。		

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
25		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問12	現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス	現在、利用している、「介護保険サービス及び介護予防サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（○はいくつでも）	1 配食 2 調理 3 掃除・選択 4 買い物（宅配は含まない） 5 ゴミ出し 6 外出同行（通院、買い物など） 7 移送サービス（介護・福祉タクシー等） 8 見守り、声かけ 9 サロンなどの定期的な通いの場 10 その他 11 特になし ＊総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス及び介護予防サービス」に含めます。	地域の中で介護保険以外の支援・サービスがどの程度利用されているかを把握します。	介護保険事業計画策定に必要な調査（在宅介護実態調査A-11（非接続式）） 総合事業における生活援助サービスのニーズ把握					
26		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問13	在宅生活継続に必要なと感じる支援・サービス	今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービス）について、ご回答ください。（○はいくつでも）	1 配食 2 調理 3 掃除・選択 4 買い物（宅配は含まない） 5 ゴミ出し 6 外出同行（通院、買い物など） 7 移送サービス（介護・福祉タクシー等） 8 見守り、声かけ 9 サロンなどの定期的な通いの場 10 その他 11 特になし ＊介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。	支援・サービスのニーズを把握します。介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスの両方を対象としている。	介護保険事業計画策定に必要な調査（在宅介護実態調査A-12（非接続式）） 総合事業における生活援助サービスのニーズ把握					
27		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問14	入所（入居）している施設	あなたが現在入所（入居）している施設について、あてはまる番号に○をつけてください。（○はひとつ）	利用者調査_調査票P13, 14参照	属性調査	計画策定の基礎資料 施設・居住系サービスの推進について検討します。					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選 肢修正の理由	削除理由	備考
28		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問14-1	入所（入居）を希望した理由	あなたが、施設等の入所（入居）を希望した理由は何ですか。（○はいくつでも）	1 段差があるなど、住まいに問題があったから 2 ひとり暮らしなど、介護する家族がいなかったから 3 家族の介護では負担が重すぎたから 4 日中や夜間に見守りをしてくれる人がいなかったから 5 在宅サービスより施設の方が経済的負担が少ないと思ったから 6 十分な介護が受けられるから 7 その他	施設入所者の入所希望理由を確認します。	計画策定の基礎資料 施設・居住系サービスの推進について検討します。					
29		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問14-2	入所施設での定住意向	あなたが入所されている施設にこのまま住み続けたいと思いますか。（○はひとつ）	1 このまま住み続けたい 2 違う施設に移りたい 3 その他	居住の定着について確認します。	計画策定の基礎資料 施設・居住系サービスの推進について検討します。					
30		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問15	医療従事者などの訪問有無	あなたは現在、医療従事者などの訪問を受けていますか。（○はひとつ）	1 はい 2 いいえ	医療介護の両方のニーズを持つ、在宅療養者を把握します。 この設問は在宅医療と介護を必要とする対象者への医療の提供状況を問う設問です。 今後の推計量の把握が可能になります。	介護保険事業計画策定に必要な調査（在宅介護実態調査A-13（非接続式）） 他の設問とクロス集計を行うことで在宅医療と介護に関する需要と供給を把握し、事業推進に活用します。					
31		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問15-1	訪問されている医療従事者	訪問されている方は誰ですか。（○はいくつでも）	1 医師 2 歯科医師 3 看護師 4 理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション専門職 5 薬剤師 6 歯科衛生士 7 栄養士、管理栄養士 8 その他	この設問は在宅医療と介護を必要とする対象者への医療の提供状況を問う設問です。 今後の推計量の把握が可能になります。	他の設問とクロス集計を行うことで在宅医療と介護に関する需要と供給を把握し、事業推進に活用します。					
32		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問16	介護支援専門員の満足度	現在、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）について、次の(1)～(9)の項目ごとの満足度をお答えください。（それぞれ○はひとつ）	利用者調査_調査票P15 参照	介護支援員の満足度を確認します。	・計画策定の基礎資料 ・ケアマネスキルアップ事業の事業評価等					
33		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問16-1	担当の介護支援専門員についての意見・要望（自由記述）	担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）について、ご意見・ご要望等があれば、次の欄に記入してください。	（自由記載）	利用者の介護支援員に対する意見を確認します。	・計画策定の基礎資料 ・ケアマネスキルアップ事業の事業評価等					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
34		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問17	介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度	あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度についてお答えください。(○はひとつ)	1 満足している 2 やや満足している 3 やや満足していない 4 満足していない 5 わからない	介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度を確認します。	計画策定の基礎資料 介護保険サービスの質の向上と確保について検討します。					
35		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問17-1	介護保険サービス及び介護予防サービスについての意見・要望(自由記述)	介護保険サービス及び介護予防サービスについて、ご意見・ご要望があれば、次の欄に記入してください。	(自由記載)	利用者の介護保険サービス及び介護予防サービスに対する意見を確認します。	計画策定の基礎資料 介護保険サービスの質の向上と確保について検討します。					
36		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問18	現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向	あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービス及び介護予防サービスはありますか(○はひとつ)	1 自宅で生活しながらサービスを受けたい 2 施設等に入所(入居)したい 3 特にない(現在利用しているサービスのみでよい)	施設調査で把握できないサービスのニーズを把握します。	小多機・看多機の利用意向を同サービスの整備目標設定の基礎数値として活用します。					
37		(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	問18-1	現在利用していない居宅サービスの利用意向	あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービス及び介護予防サービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)	1 訪問介護(ホームヘルプ) 2 介護予防型訪問サービス(現行相当型) 3 生活援助型訪問サービス 4 訪問看護 5 訪問リハビリテーション 6 居宅療養管理指導 7 通所介護(デイサービス) 8 介護予防型通所サービス(現行相当型) 9 短時間型通所サービス(基準緩和型) 10 通所リハビリテーション(デイケア) 11 短期入所生活介護・療養介護(ショートステイ) 12 小規模多機能型居宅介護 13 福祉用具の貸与 14 福祉用具の購入 15 住宅改修 16 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(24時間サービス) 17 訪問入浴介護 18 夜間対応型訪問介護 19 看護小規模多機能型居宅介護 20 その他 21 特にない	施設調査で把握できないサービスのニーズを把握します。	小多機・看多機の利用意向を同サービスの整備目標設定の基礎数値として活用します。					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選 肢修正の理由	削除理由	備考
38		(4) 介護保険 サービスの利用 状況と利用に対 する考え	問18~2	現在利用していない 施設サービスの利 用意向	あなたが現在利用してい る介護保険サービスとは 別に、1年以内に利用し たい介護保険サービスに ついて、あてはまる番号 に○をつけてください。 (○はひとつ)	1 介護老人福祉施設（特別 養護老人ホーム）【地域密着 型を含む】 2 介護老人保健施設（老人保 健施設） 3 介護療養型医療施設（介 護職員が手厚く配置された病 院等） 4 介護医療院 5 認知症対応型共同生活介 護（グループホーム） 6 特定施設入居者生活介護 （介護付き有料老人ホーム等） 【地域密着型を含む】	施設調査で把握するサ ービスのニーズを補完しま す。	施設整備目標の設定に あたっては、施設調査で 把握する入所申込状況を 基礎数値として使用して いるが、異なる傾向や補 正の必要がないか等検 証します。		1 介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム） 【地域密着型を含む】 2 介護老人保健施設（老 人保健施設） 3 介護療養型医療施設 （介護職員が手厚く配置 された病院等） 4 3 介護医療院 5 4 認知症対応型共同 生活介護（グループホー ム） 6 5 特定施設入居者生 活介護（介護付き有料 老人ホーム等）【地域密 着型を含む】	介護療養型医療施設が 廃止になっているため削 除		
39		(5) 外出の状況	問19	外出頻度	週に1回以上は外出して いますか。(○はひとつ)	1 ほとんど外出しない 2 週1回 3 週2~4回 4 週5回以上	この設問は、閉じこもり傾 向を問う設問です。閉じ こもり傾向のある高齢者 の地域分布を把握するこ とで、事業の対象者・対 象地域・実施内容の検討 の際に活用することが可 能になります。	一般介護予防事業は、要 介護者を含むすべての高 齢者を対象としており、要 介護者の状態についても 同様に把握する必要があります。 把握した調査結果につい ては、他の設問結果と合 わせて、フレイル要因の 傾向やフレイルの状況分 析に使用します。 また、対象群や居住区ご とに比較し、地域診断を 行い、今後の介護予防施 策の基礎資料とします。 地域診断の結果につい ては、各区で行う介護予 防地域健康講座や介護 予防地域情報発信の題 材として活用します。					ニーズ調査 問2 (6)と重複
40		(5) 外出の状況	問20	昨年と比べて外出 の回数	昨年と比べて外出の回数 が減っていますか。(○は ひとつ)	1 とても減っている 2 減っている 3 あまり減っていない 4 減っていない	この設問は、閉じこもり傾 向を問う設問です。閉じ こもり傾向のある高齢者 の地域分布を把握するこ とで、事業の対象者・対 象地域・実施内容の検討 の際に活用することが可 能になります。	一般介護予防事業は、要介護 者を含むすべての高齢者を対 象としており、要介護者の状 態についても同様に把握する 必要があります。 把握した調査結果につい ては、他の設問結果と合わせ て、フレイル要因の傾向やフレ イルの状況分析に使用しま す。 また、対象群や居住区ごと に比較し、地域診断を行い、今 後の介護予防施策の基礎資 料とします。地域診断の結果 については、各区で行う介護 予防地域健康講座や介護予 防地域情報発信の題材として 活用します。					ニーズ調査 問2 (7)と重複

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
41		(5) 外出の状況	問21	外出を控えること	外出を控えていますか。 (○はひとつ)	1 はい 2 いいえ	この設問は、外出を控えている場合の原因を問う設問です。閉じこもり傾向のある高齢者の原因を把握することにより、地域課題（閉じこもり傾向のある高齢者に不足している対策）の把握が可能になります。	一般介護予防事業は、要介護者を含むすべての高齢者を対象としており、要介護者の状態についても同様に把握する必要があります。 把握した調査結果については、他の設問結果と合わせて、フレイル要因の傾向やフレイルの状況分析に使用します。 また、対象群や居住区ごとに比較し、地域診断を行い、今後の介護予防施策の基礎資料とします。 地域診断の結果については、各区で行う介護予防地域健康講座や介護予防地域情報発信の題材として活用します。					ニーズ調査 問2 (8)と重複
42		(5) 外出の状況	問21-1	外出を控えている理由	外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつても)	1 病気 2 障がい（脳卒中の後遺症など） 3 足腰などの痛み 4 トイレの心配 5 耳の障がい（聞こえの問題） 6 目の障がい 7 外での楽しみがない 8 経済的に出られない 9 交通手段がない 10 その他	この設問は、外出を控えている場合の原因を問う設問です。閉じこもり傾向のある高齢者の原因を把握することにより、地域課題（閉じこもり傾向のある高齢者に不足している対策）の把握が可能になります。	一般介護予防事業は、要介護者を含むすべての高齢者を対象としており、要介護者の状態についても同様に把握する必要があります。 把握した調査結果については、他の設問結果と合わせて、フレイル要因の傾向やフレイルの状況分析に使用します。 また、対象群や居住区ごとに比較し、地域診断を行い、今後の介護予防施策の基礎資料とします。 地域診断の結果については、各区で行う介護予防地域健康講座や介護予防地域情報発信の題材として活用します。					ニーズ調査 問2 (8)①と重複

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
43		(6) 介護予防・ 重度化防止の取 り組み	問22	介護予防に対する 意識の程度	あなたは、介護予防につ いてどれほど意識してい ますか。(○はひとつ)	1 意識している 2 やや意識している 3 あまり意識していない 4 意識していない	この設問は、介護予防の 取り組みについての意識 を問う設問です。介護予 防を啓発する際により有 効な事業や方法を検討 する際に活用することが 可能になります。	介護予防を啓発する際には、対象がど の程度取り組み意識を持っているかによ ってアプローチ方法を考える必要があり ます。例えば、介護予防に対する意識 の低い人がどのような媒体から情報を 得たり、どのような目的で外出したりす るのかを把握することによって、より効果 的な啓発手段を検討する際に用いてい ます。 一般介護予防事業は、要介護者を含む すべての高齢者を対象としており、要介 護者の状態についても同様に把握する 必要があります。 把握した調査結果については、他の設 問結果と合わせて、フレイル要因の傾向 やフレイルの状況分析に使用します。 また、対象群や居住区ごとに比較し、地 域診断を行い、今後の介護予防施策の 基礎資料とします。地域診断の結果に ついては、各区分で行う介護予防地域健 康講座や介護予防地域情報発信の題 材として活用します。					
44		(6) 介護予防・ 重度化防止の取 り組み	問23	介護予防の取り組 み状況	あなたが、介護予防とし て、今取り組んでいるこ と、または、今後取り組 みたいことは何です か。(○はいくつでも)	1 体操や運動により体力を維持する 2 栄養バランスのとれた食事をとる 3 歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ 4 町会、老人クラブなどの地域活動やボランティア活動に参加する 5 趣味や学習を楽しむ 6 近所の人や友達と交流する 7 掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする 8 健診(検診)や保健指導を受けたり、かかりつけ医の指示どおりに受診したりする 9 仕事をする 10 介護予防ポイント事業 11 百歳体操(いきいき・かみかみ・しゃきしゃき) 12 その他 13 特にない	この設問は、介護予防の 取り組み状況を問う設問 です。取り組んでいる人・ 取り組みたい人の多い内 容を把握することで、より ニーズの高い介護予防 事業の内容を企画検討 する際に活用することが 可能になります。	年齢や要介護状態区分・ 日常生活圏域によって異 なるニーズに対応した事 業を企画検討するにあた り不可欠です。 一般介護予防事業は、要 介護者を含むすべての高 齢者を対象としており、要 介護者の状態についても 同様に把握する必要があ ります。 把握した調査結果につい ては、他の設問結果と合 わせて、フレイル要因の 傾向やフレイルの状況分 析に使用します。 また、対象群や居住区ご とに比較し、地域診断を 行い、今後の介護予防施 策の基礎資料とします。 地域診断の結果につい ては、各区分で行う介護 予防地域健康講座や介護 予防地域情報発信の題 材として活用します。					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択 肢修正の理由	削除理由	備考
45		(6) 介護予防・ 重度化防止の取 り組み	問23-1	介護予防の取り組 みに意向がない理 由	【問23の①または②で 「13特にない」と回答さ れた方におうかがいま す】 あなたが、介護予防につ いて、取り組んでいない、 または、取り組んでみた いと思わない理由は何で すか。(〇はいくつでも)	1 介護予防に取り組まなくて も、日常生活に支障がないか ら 2 どのように取り組んでい いのかわからないから 3 外に出るのがおっくうだ から 4 持病があったり、体調が悪 くてできないから 5 今は取り組んでいないが、 今後取り組もうと思っている 6 一緒に取り組む人がいない から 7 その他	この設問は、介護予防に 取り組んでいない、また は、取り組んでみたいと 思わない理由を問う設問 です。 介護予防の取り組みにつ ながっていない理由を把 握することで、啓発する際 のアプローチ方法などを 検討するにあたり、活用 することが可能になりま す。	年齢や要介護状態区分・ 日常生活圏域によって異 なるニーズに対応した事 業を企画検討するにあた り不可欠です。 一般介護予防事業は、要 介護者を含むすべての高 齢者を対象としており、要 介護者の状態についても 同様に把握する必要があります。 把握した調査結果につ いては、他の設問結果と合 わせて、フレイル要因の 傾向やフレイルの状況分 析に使用します。 また、対象群や居住区ご とに比較し、地域診断を 行い、今後の介護予防施 策の基礎資料とします。 地域診断の結果につい ては、各区で行う介護予 防地域健康講座や介護 予防地域情報発信の題 材として活用します。					
46		(7) 健康状態	問24	歯の数と入れ歯の 利用状況	歯の数と入れ歯の利用状 況をお答えください。(成 人の歯の総本数は、親知 らずを含めて32本です) (〇はひとつ)	1 自分の歯は20本以上、か つ入れ歯を利用 2 自分の歯は20本以上、入 れ歯の利用なし 3 自分の歯は19本以下、か つ入れ歯を利用 4 自分の歯は19本以下、入 れ歯の利用なし	この設問は、義歯の有無 と歯数を問う設問です。 高齢者の口腔の健康状 態や義歯の使用状況の 把握により、地域の歯科 医療や口腔機能の向上 に関するニーズの把握の 参考になります。	一般介護予防事業は、要 介護者を含むすべての高 齢者を対象としており、要 介護者の状態についても 同様に把握する必要があ ります。 把握した調査結果につ いては、他の設問結果と合 わせて、フレイル要因の 傾向やフレイルの状況分 析に使用します。 また、対象群や居住区ご とに比較し、地域診断を 行い、今後の介護予防施 策の基礎資料とします。 地域診断の結果につい ては、各区で行う介護予 防地域健康講座や介護 予防地域情報発信の題 材として活用します。					ニーズ調査 問3 (6)と重複

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選 肢修正の理由	削除理由	備考
47		(7) 健康状態	問24-1	かみ合わせ	かみ合わせはよいです か。(○はひとつ)	1 はい 2 いいえ	この設問は、咬合状態・ 義歯の管理を問う設問で す。咀嚼機能や口腔衛生 の状況を把握すること により、口腔に関する地域 課題の把握が可能にな ります。	一般介護予防事業は、要介護者 を含むすべての高齢者を対象と しており、要介護者の状態につ いても同様に把握する必要があります。 把握した調査結果については、 他の設問結果と合わせて、フレ イル要因の傾向やフレイルの状況 分析に使用します。 また、対象群や居住区ごとに比 較し、地域診断を行い、今後の 介護予防施策の基礎資料とし ます。地域診断の結果について は、各区で行う介護予防地域健 康講座や介護予防地域情報発 信の題材として活用します。					ニーズ調査 問3 (6)①と重複
48		(7) 健康状態	問24-2	入れ歯の手入れ	毎日入れ歯の手入れを していますか。(○はひと つ)	1 はい 2 いいえ							ニーズ調査 問3 (6)②と重複
49		(7) 健康状態	問25	かんで食べることの 可否	あなたがかんで食べる時 の状態は、次のどれにあ てはまりますか。(○はひ とつ)	1 何でも、かんで食べること ができる 2 一部、かめない食べ物があ る 3 かめない食べ物が多い 4 かんで食べることはできな い	この設問は、かんで食べ ることについて困難感が あるかどうかを問う設問 です。オーラルフレイルお よび低栄養の予防のため に必要な事業や啓発方 法を検討する際に活用す ることが可能になります。	外出頻度等フレイル状態をあらわす 指標とともに把握し、オーラルフレ イル予防のための啓発や事業の内容 を検討する際に用いています。 主観的な困難感を尋ねる設問であ り、あわせて把握することで対象者 の口腔機能面を包括的に評価し、比 較することができるため必要です。 一般介護予防事業は、要介護者 を含むすべての高齢者を対象として おり、要介護者の状態についても同 様に把握する必要があります。 把握した調査結果については、他の 設問結果と合わせて、フレイル要因 の傾向やフレイルの状況分析に使用 します。 また、対象群や居住区ごとに比較 し、地域診断を行い、今後の介護予 防施策の基礎資料とします。地域診 断の結果については、各区で行う介 護予防地域健康講座や介護予防地 域情報発信の題材として活用しま す。					ニーズ調査 問3 (7)と重複

NO.	新規設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
50		(7) 健康状態	問26	お茶や汁物でむせること	お茶や汁物等でむせることはありますか。(○はひとつ)	1 はい 2 いいえ	この設問は、嚥下機能の低下を把握する設問設問です。口腔機能が低下している高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	一般介護予防事業は、要介護者を含むすべての高齢者を対象としており、要介護者の状態についても同様に把握する必要があります。 把握した調査結果については、他の設問結果と合わせて、フレイル要因の傾向やフレイルの状況分析に使用します。 また、対象群や居住区ごとに比較し、地域診断を行い、今後の介護予防施策の基礎資料とします。 地域診断の結果については、各区で行う介護予防地域健康講座や介護予防地域情報発信の題材として活用します。					ニーズ調査 問3 (3)と重複
51		(7) 健康状態	問27	健康状態	現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)	1 とてもよい 2 まあよい 3 あまりよくない 4 よくない	この設問は、主観的健康感を問う設問です。要介護状態になる前の高齢者の主観的健康感を把握することで、地域の健康度のアウトカム指標として活用することが可能になります。	一般介護予防事業は、要介護者を含むすべての高齢者を対象としており、要介護者の状態についても同様に把握する必要があります。 把握した調査結果については、他の設問結果と合わせて、フレイル要因の傾向やフレイルの状況分析に使用します。 また、対象群や居住区ごとに比較し、地域診断を行い、今後の介護予防施策の基礎資料とします。 地域診断の結果については、各区で行う介護予防地域健康講座や介護予防地域情報発信の題材として活用します。					ニーズ調査 問8 (1)と重複
52		(8) 新型コロナウイルス感染症対策	問28	新型コロナウイルス感染症対策の実施	新型コロナウイルス感染症に対する感染対策を行っていますか。(○はひとつ)	1 行っている 2 行っていない	削除検討設問					コロナ禍の実態把握を目的として行っていた調査のため。	

NO.	新規設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
53		(8) 新型コロナウイルス感染症対策	問28-1	行っている感染症対策	あなたが行っている感染対策はどのようなものですか。(〇はいくつても)	1 人と話す時は間隔を空けている(2m以上) 2 会話の際は真正面を避けている 3 大人数が集まる場所を避けている 4 こまめに手洗い・手指消毒をしている 5 こまめな換気を心掛けている 6 外食をする場合は、少人数・短時間を心掛けている 7 外食をする場合は、マスク会食をしている 8 その他	削除検討設問					コロナ禍の実態把握を目的として行っていた調査のため。	
54		(8) 新型コロナウイルス感染症対策	問29	新型コロナウイルス感染症に感染した経験	あなたは、新型コロナウイルス感染症に感染した経験はありますか。(本調査は個人を特定するものではありません)(〇はひとつ)	1 ある 2 ない 3 わからない 4 答えたくない	削除検討設問					コロナ禍の実態把握を目的として行っていた調査のため。	本人調査と重複
55		(9) かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師	問30	かかりつけの医師の訪問診療の有無	かかりつけの医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。(〇はひとつ)	1 かかりつけの医師がいて、自宅に来てくれる(と思う) 2 かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う) 3 かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない 4 かかりつけの医師がいない	この設問は、かかりつけ医師がいると考えている人がどれくらい居るのかを問う設問です。かかりつけ医をもち、長期的に健康を意識してもらうために、必要な支援を検討する際に活用することが可能になります。	外出頻度等の生活状況および運動機能や歯の本数等の健康状態等、ほかの項目とともに把握することで、かかりつけ医をもつことの影響を伝え、どういった働きかけを行うことで効果的に啓発することができのかを検討する際に用いることとしています。 今後特に、介護予防把握事業において介護予防が必要な高齢者を早期にキャッチするために後期高齢者医療制度における健康診査の受診率を向上させる必要があり、継続した現状の把握が不可欠です。 一般介護予防事業は、要介護者を含むすべての高齢者を対象としており、要介護者の状態についても同様に把握する必要があります。 把握した調査結果については、他の設問結果と合わせて、フレイル要因の傾向やフレイルの状況分析に使用します。 また、対象群や居住区ごとに比較し、地域診断を行い、今後の介護予防施策の基礎資料とします。地域診断の結果については、各区分で行う介護予防地域健康講座や介護予防地域情報発信の題材として活用します。					ニーズ調査 問9(12)と重複

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選 肢修正の理由	削除理由	備考
56		(9) かかりつけ 医・かかりつけ歯 科医師・かかりつ け薬剤師	問31	かかりつけの歯科 医師の訪問診療の 有無	かかりつけの歯科医師は あなたが通院できな くなった時に自宅に来て くれますか。(○はひとつ)	1 かかりつけの歯科医師が いて、自宅に来てくれる(と 思う) 2 かかりつけの歯科医師が いるが、自宅に来てくれない (と思う) 3 かかりつけの歯科医師が いるが、自宅に来てくれるか はわからない 4 かかりつけの歯科医師が いない	この設問は、かかりつけ 歯科医師がいると考えて いる人がどれくらい居る のかを問う設問です。か かりつけ薬剤師・薬局を もち、長期的に健康を意 識してもらうために、必要 な支援を検討する際に活 用することが可能になり ます。	外出頻度等の生活状況および運動機 能や歯の本数等の健康状態等、ほかの 項目とともに把握することで、かかりつ け医をもつことの影響を伝え、どうい った働きかけを行うことで効果的に啓発 することができるのかを検討する際に用 いることとしています。 今後特に、介護予防把握事業において 介護予防が必要な高齢者を早期に キャッチするために後期高齢者医療制 度における健康診査の受診率を向上さ せる必要があり、継続した現状の把握 が不可欠です。 一般介護予防事業は、要介護者を含む すべての高齢者を対象としており、要介 護者の状態についても同様に把握する 必要があります。 把握した調査結果については、他の設 問結果と合わせて、フレイル要因の傾向 やフレイルの状況分析に使用します。 また、対象群や居住区ごとに比較し、地 域診断を行い、今後の介護予防施策の 基礎資料とします。地域診断の結果に ついては、各区分で行う介護予防地域健 康講座や介護予防地域情報発信の題 材として活用します。					ニーズ調査 問9 (13)と重複
57		(9) かかりつけ 医・かかりつけ歯 科医師・かかりつ け薬剤師	問32	かかりつけ薬剤師・ 薬局の訪問の有無	かかりつけの薬剤師・薬 局はあなたが通院できな くなった時に自宅に来て くれますか。(○はひと つ)	1 かかりつけの薬剤師・薬局 があり、自宅に来てくれる(と 思う) 2 かかりつけの薬剤師・薬局 があるが、自宅に来てくれない (と思う) 3 かかりつけの薬剤師・薬局 があるが、自宅に来てくれるか はわからない 4 かかりつけの薬剤師・薬局 がない	この設問は、かかりつけ 薬剤師・薬局があると思 えている人がどれくらい 居るのかを問う設問で す。かかりつけ薬剤師・薬 局をもち、長期的に健康 を意識してもらうために、 必要な支援を検討する際 に活用することが可能に なります。	外出頻度等の生活状況および運動機 能や歯の本数等の健康状態等、ほかの 項目とともに把握することで、かかりつ け医をもつことの影響を伝え、どうい った働きかけを行うことで効果的に啓発 することができるのかを検討する際に用 いることとしています。 今後特に、介護予防把握事業において 介護予防が必要な高齢者を早期に キャッチするために後期高齢者医療制 度における健康診査の受診率を向上さ せる必要があり、継続した現状の把握 が不可欠です。 一般介護予防事業は、要介護者を含む すべての高齢者を対象としており、要介 護者の状態についても同様に把握する 必要があります。 把握した調査結果については、他の設 問結果と合わせて、フレイル要因の傾向 やフレイルの状況分析に使用します。 また、対象群や居住区ごとに比較し、地 域診断を行い、今後の介護予防施策の 基礎資料とします。地域診断の結果に ついては、各区分で行う介護予防地域健 康講座や介護予防地域情報発信の題 材として活用します。					ニーズ調査 問9 (14)と重複

NO.	新規設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
58		(10) 地域活動	問33	地域の会・グループ等への参加頻度	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(○はひとつ)①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれ○はひとつ)	利用者調査 調査票P23, 24参照	この設問は、社会参加活動や、就業状況を問う設問です。	一般介護予防事業は、要介護者を含むすべての高齢者を対象としており、要介護者の状態についても同様に把握する必要があります。 把握した調査結果については、他の設問結果と合わせて、フレイル要因の傾向やフレイルの状況分析に使用します。 また、対象群や居住区ごとに比較し、地域診断を行い、今後の介護予防施策の基礎資料とします。 地域診断の結果については、各区で行う介護予防地域健康講座や介護予防地域情報発信の題材として活用します。					ニーズ調査 問5(1)と重複
59		(10) 地域活動	問33-1	地域づくり活動に参加者としての参加意向	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)	1 是非参加したい 2 参加してもよい 3 参加したくない 4 既に参加している	この設問は、地域づくりへの参加意向を問う設問です。地域づくりに対して「参加者として」「企画・運営(お世話役として)」の両方の立場における参加の意向を把握することが可能になります。	一般介護予防事業は、要介護者を含むすべての高齢者を対象としており、要介護者の状態についても同様に把握する必要があります。 把握した調査結果については、他の設問結果と合わせて、フレイル要因の傾向やフレイルの状況分析に使用します。 また、対象群や居住区ごとに比較し、地域診断を行い、今後の介護予防施策の基礎資料とします。 地域診断の結果については、各区で行う介護予防地域健康講座や介護予防地域情報発信の題材として活用します。					ニーズ調査 問5(2)と重複
60		(10) 地域活動	問33-2	地域づくり活動に企画・運営としての参加意向	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)	1 是非参加したい 2 参加してもよい 3 参加したくない 4 既に参加している	この設問は、地域づくりへの参加意向を問う設問です。地域づくりに対して「参加者として」「企画・運営(お世話役として)」の両方の立場における参加の意向を把握することが可能になります。	一般介護予防事業は、要介護者を含むすべての高齢者を対象としており、要介護者の状態についても同様に把握する必要があります。 把握した調査結果については、他の設問結果と合わせて、フレイル要因の傾向やフレイルの状況分析に使用します。 また、対象群や居住区ごとに比較し、地域診断を行い、今後の介護予防施策の基礎資料とします。 地域診断の結果については、各区で行う介護予防地域健康講座や介護予防地域情報発信の題材として活用します。					ニーズ調査 問5(3)と重複

NO.	新規設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
61		(11) 認知症	問34	認知症状の有無	認知症の症状(物忘れの悪化など認知症の疑いも含む)がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○はひとつ)	1 はい 2 いいえ	この設問は、家族を含め認知症の有無を問う設問です。認知症施策推進大綱において、認知症に関する相談体制を地域ごとに整備していくことが求められており、その目標となる相談窓口の認知度について、関係者(認知症患者本人及び家族)と住民(本人及び家族以外)の属性の把握が可能となります。	認知症に関する相談窓口周知業務の効果測定に使用するとともに、認知度の高い相談窓口を把握することで、認知症の早期発見、早期対応に向けた体制を検討する際に用います。					
62		(11) 認知症	問34-1	認知症に関する相談窓口の認知度	認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○はひとつ)	1 はい 2 いいえ	この設問は、認知症に関する相談窓口の認知度を把握するための設問です。認知症に関する相談窓口の認知度を把握し、周知の必要性等の課題の把握が可能となります。	認知症に関する相談窓口周知業務の効果測定に使用するとともに、認知度の高い相談窓口を把握することで、認知症の早期発見、早期対応に向けた体制を検討する際に用います。					
63		(11) 認知症	問34-2	知っている認知症に関する相談窓口	【問34-1で「1 はい」と回答された方におうかがいします。】 あなたが認知症に関する相談窓口として知っているところはどこですか。(○はいくつでも)	1 かかりつけの医師 2 地域の精神科・神経内科などの医療機関 3 認知症疾患医療センター 4 民生委員・町会などの地域役員 5 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者 6 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホームなどの介護保険事業者 7 地域包括支援センターまたは総合相談窓口(プランチ) 8 認知症初期集中支援チーム(通称「オレンジチーム」) 9 区役所・保健福祉センター 10 その他	この設問は、知っている認知症に関する相談窓口を問う設問です。相談窓口ごとの認知度を把握することで、相談窓口の効果的な周知の検討の活用することが可能になります。	認知症に関する相談窓口周知業務の効果測定に使用するとともに、認知度の高い相談窓口を把握することで、認知症の早期発見、早期対応に向けた体制を検討する際に用います。					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選 肢修正の理由	削除理由	備考
64		(11) 認知症	問34-3	認知症についての 相談先	あなたは、あなた又はあ なたのご家族が認知症に ついて不安に感じるとき は、どちらに相談されま すか。(〇はいくつても)	1 かかりつけの医師 2 地域の精神科・神経内科な どの医療機関 3 認知症患者医療センター 4 民生委員・町会などの地域 役員 5 介護支援専門員(ケアマネ ジャー)やホームヘルパーなど の介護保険事業者 6 特別養護老人ホーム、介護 老人保健施設、グループホー ムなどの介護保険事業者 7 地域包括支援センターまた は総合相談窓口(ブランチ) 8 認知症初期集中支援チー ム(通称「オレンジチーム」) 9 区役所・保健福祉センター 10 どこに相談すればいいか わからない 11 その他	この設問は、認知症につ いての相談先を問う設問 です。認知症についての 相談先を把握すること で、認知症の早期発見、 早期対応に向けた効果 的な体制の検討の際に 活用することが可能にな ります。	認知症についての相談 先を把握することで、認 知症の早期発見、早期対 応に向けた体制を検討す る際に用いることとしてい ます。					ニーズ調査 問9 (4)と重複
65		(12) 高齢者向 けサービス情報、 生活の満足度	問35	高齢者向けサービ スの情報源	あなたは、高齢者向けの サービスなどの情報をど こから得ていますか。	1 ご家族・友人・知人 2 介護支援専門員(ケアマネ ジャー)やホームヘルパーなど の介護保険事業者 3 民生委員 4 町会・自治会・地域活動協 議会、地域社会福祉協議会な ど、地域で見守り活動を行っ ている団体 5 地域ネットワーク委員・推進 員や福祉のコーディネーター (地域福祉活動などの調整 役) 6 区社会福祉協議会 7 老人福祉センター 8 区役所・保健福祉センター 9 地域包括支援センターや総 合相談窓口(ブランチ) 10 「区政だより」や「くらしの 便利帳」など広報誌 11 市のホームページ(イン ターネット)、メールマガジンな ど 12 新聞・テレビ・ラジオなど 13 その他 14 特になし	この設問は、高齢者向け の支援や健康に関する情 報等をどこで入手してい るかを問う設問です。情 報の入手経路としてどこ が多いかを把握すること で、介護予防啓発のため の効果的な周知の検討 の際に活用することが可 能になります。	介護予防に関する普及 啓発業務の効果測定に 使用するとともに、より身 近で頻度の高い情報入 手経路を把握すること で、介護予防について効 果的に情報発信できる体 制を検討する際に用いま す。 一般介護予防事業は、要 介護者を含むすべての高 齢者を対象としており、要 介護者の状態についても 同様に把握する必要があります。 把握した調査結果につい ては、他の設問結果と合 わせて、フレイル要因の 傾向やフレイルの状況分 析に使用します。 また、対象群や居住区ご とに比較し、地域診断を 行い、今後の介護予防施 策の基礎資料とします。 地域診断の結果につい ては、各区で行う介護予 防地域健康講座や介護 予防地域情報発信の題 材として活用します。					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
66		(12) 高齢者向けサービス情報、生活の満足度	問36	現在の生活の満足度	あなたの現在の生活の満足度は次のどれにあてはまりますか。(○はひとつ)	1 満足 2 やや満足 3 やや満足でない 4 満足でない	この設問は、心の健康状態を把握するための設問です。 高齢期のうつとフレイルは密接に関連しており、心の健康状態によってフレイル予防のアプローチ方法も検討を要するため、対象者の心の健康状態を正しく把握する必要があります。	この設問は、後期高齢者医療制度の健診で用いられる「後期高齢者の質問票」と同じ項目です。大田市では、この設問の回答と他の項目との関連に着目して事業（ハイリスク高齢者の家庭訪問事業）を展開しており、類似設問として挙げられている主観的幸福感に加えて、この設問を採用しています。 把握した内容は、うつ予防のための啓発や事業の内容を検討する際に用います。					
67		(13) 介護保険制度についての意見・要望等（自由記述）	問37	介護保険制度についての意見・要望等（自由記述）	介護保険制度について、介護保険サービスの利用者として、ご意見・ご要望等がありましたら、次の欄に記入してください。	（自由記載）							